

# 大腿骨頸部骨折 人工骨頭置換術 入院計画表①

様 主治医

受け持ち看護師

経過	入院日	入院2日目～手術前々日	手術前日	手術当日術前	手術当日術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目
月/日	/	/ ~ /	/	/	/	/	/	/	/
目標	不安が最小限で過ごせる。 骨折部の痛みが緩和される。 日常生活が介助で送ることができる。		手術の準備ができる。	手術の準備ができる。	麻酔による頭痛・吐き気がない。 傷の痛み・体を動かした時の痛みが緩和される。 安静が守れる。 手術した足の制限が守れ、脱臼が起こらない。	日常生活が介助で送ることができる。			
処置	ベッド上安静のため、尿の管を入れさせていただきます。 骨折部位をアイスパックで冷やします。 手術後歩行できるようになるまで血栓予防のための機械を足につけます。		排便がなければ座薬や洗腸をかける場合があります。	新しい病衣に着替え、指輪・時計・入れ歯などの金属類は全て外します。	傷の中で血が貯まらないよう、血を抜くための管が入ってきます。 手術した部位を5日間アイスパックで冷やします。	傷からの出血がある場合、回診時ガーゼを交換します。	回診時、傷に入っている管を抜きます。	回診時、傷の消毒をします。	毎日、または一日おきに回診時に傷の消毒をします。
安静度	ベッド上安静です。ベッドアップは痛みに合わせてできます。排泄もベッド上でしていただきます。寝返りは看護師がお手伝いします。			( )時にベッドのまま手術室に行きます。	2週間、股関節が外れるのを予防するための三角の枕を足の間に挟めます。				リハビリの状況にあわせて、病棟でも歩行器や杖での歩行を開始します。
治療薬	常用薬は手術後落ち着くまで詰め所でお預かりします。 痛みがあるときは痛み止めが使えます。			( )時に飲み薬を飲みます。 ( )時頃に点滴をします。	麻酔覚醒後、常用薬の内服を開始します。 抗生剤の点滴をします。 痛みがあるときは痛み止めが使えます。	抗生剤の点滴を3回します。			血栓予防の飲み薬を開始します。
検査	血圧・体温・脈拍を測ります。 採血・レントゲン・呼吸機能の検査をします。				病室後採血があります。	朝採血があります。	朝採血があります。	朝採血があります。	
食事			( )時から絶食です。 ( )時から絶飲食です。	( )時から絶飲食です。	水分・食事は腸の動きが確認できるまで取れません。				
清潔	朝・夜、洗面のタオルをお渡しします。	尿の管が入っている間、感染予防のため毎日洗浄します。 寝たままシャワー浴ができます。その他の日は足に巻いてあるスポンジの中を拭きます。	寝たままシャワーに入ることができます。			車椅子に移れるようになったら、尿の管は抜きます。 体をタオルで拭きます。		傷に防水テープを貼り、シャワーに入れます。一人で入れるようになるまで週2回シャワーの介助をさせていただきます。	
説明		手術までにバスタオルを用意しておいてください。	麻酔科医の診察・麻酔の説明があります。 主治医より手術についての説明があります。 手術前後の説明をさせていただきます。手術後、足が内側に入る・内股・股関節90度以上の屈曲は関節が外れる危険があるため禁止です。		ご家族に主治医より説明があります。				
その他	退院先や自宅の状況を確認をします。		手術同意書・麻酔同意書を提出していただきます。						

※病状に応じて予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら看護師にお尋ね下さい。

# 大腿骨頸部骨折 人工骨頭置換術 入院計画表②

様 主治医

受け持ち看護師

経過	手術後5・6日目	手術後7日目	手術後8・9日目	手術後10日目	手術後11日目	手術後12～14日目	手術後15～19日目	手術後20日目	退院日
月/日	/ . /	/	/ . /	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/	/
目標	傷の痛み・体を動かした時の痛みが緩和される。 手術した足の制限が守れ、脱臼が起こらない。 日常生活が介助で送ることができる。			→	一部介助で身の回りのことができる。	→	日常生活に不自由がない。 退院後の生活についての理解ができる。		→
処置	毎日、または一日おきに、回診時に傷の消毒をします。		→	回診時、抜糸をします。	回診時、傷の状態を確認します。				
安静度						14日目から脱臼予防のための三角の枕は外しますが、足の間に普通の枕を挟めます。また、左右に寝返りができるようになります。			
治療薬	痛みがあるときは痛み止めが使えます。								→
検査		朝採血があります。 レントゲンを撮ります。				14日目にレントゲンを撮ります。		レントゲンを撮ります。	
食事									
清潔									
説明				シャワーの入りの指導があります。				退院後の生活についての指導があります。	
その他		退院先や自宅の状況を再度確認します。					自宅の状況の確認のため、患者様やご家族と一緒に看護師・理学療法士・ケアマネージャーなどが自宅へ訪問に行く場合があります。		



**<退院後の生活について>**

- ・股関節が90度以上曲がる動作はできません。低い椅子に座る、座ったままのお辞儀、正座、しゃがむ、和式トイレの使用はしないように注意しましょう。
- ・足が内側に向く動作もできません。足を組む、横座りなどはしないようにしましょう。
- ・次回受診は必ず守り、定期的に受診するようにしましょう。
- ・痛みが強くなったり、その他何かあれば、次回受診を待たずに、すみやかに受診しましょう。

※病状に応じて予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら看護師にお尋ね下さい。

# 膝の人工膝関節全置換術を受けられる患者様へ ①






# 様

経過 月/日	入院日 / ( )	手術当日 術前	術後	手術後1日目 / ( )	手術後2日目 / ( )	手術後3日目 / ( )
目標	膝の痛みが緩和できる。 手術の準備ができる。		傷の痛みが緩和される。 出血が多くない。 安静が守られる。 頭痛・吐き気・尿閉がない。 痛み止めの管からのもれがない 足の痺れ、冷感がなく、足趾の動きがある。	日常生活が介助にて充足できる。		
処置	テープ負けの確認をさせていただきます 抗生物質の問診をさせていただきます。	手術室に入る前に着替えて いただきます。 手術室に行く前に排尿を済ませて いただきます。	尿を出す管と背中から痛み止めの管が 入ってきます。 容態により酸素吸入をすることがあります。 血栓予防の機械をつけさせていただきます 手術した膝を機械で冷やします。 心臓の動きを診る為に機械を胸に つけさせていただきますことがあります。	回診時、傷のガーゼ交換をします。 背中の痛み止めの管を抜きます。	回診時傷のガーゼ交換をします。 	回診時傷のガーゼ交換を します。 
安静度	特に制限はありません。	手術室へは(徒歩・車椅子・ベッド)で 行きます。	手術室からはベッドに戻ってきます。 手術後ベッド上の安静が必要です。 寝返りは、看護師が行います。	車椅子に移動できます。(手術した方の 足に体重をかけないで下さい。) 車椅子は看護師が動かします	車椅子で移動できます。 車椅子は看護師が動かします。	手術した足に体重をかけて 見守りでの歩行器歩行が 出来ます。
治療薬	持参薬を確認させていただきます。 抗凝固剤(血液をサラサラにするお薬)を 服用されている場合は、中止する事が あります。 常用薬は手術後体調が落ち 着くまで詰所でお預かりします。 	( : )に看護師が内服薬を お持ちします。 ( : )に点滴をします。 	500mlの点滴が( )本あります。 夜に抗生物質の点滴があります。 痛みが強いときは痛み止めが使えます。 常用薬は看護師から声をかけます のでおまちください。 	1日3回抗生物質の点滴があります。 ます。 	血栓予防の内服を2週間行います。	
検査	血圧・体温・脈拍・呼吸の状態を測ります 手術用の輸血準備のため採血をする 場合があります。	血圧・体温・脈拍・呼吸の状態を測り ます。	血圧・体温・脈拍・呼吸状態を測ります。 部屋に帰ってから採血があります。	体温・脈拍を測ります。 朝に採血をします。		朝に採血をします。
食事	( : )から食事が摂れません。	( : )から水分が摂れません。	腸の動きを確認後、飲水・食事・内服をして いただきます。看護師から声をかけます のでお持ち下さい。	制限はありません。		
清潔	夕方までに入浴していただきます。 必要時お手伝いさせていただきます。		寝る前に顔を拭くためのタオルをお渡し します。	温タオルで体を拭かせていただきます。 尿の管が入っている部分を 洗わせていただきます。 朝と寝る前に顔を拭くための タオルをお渡しします。 	温タオルで体を拭かせていただくか、 介助にてシャワーに入らせていただきます	
説明	麻酔科外来で麻酔科医師より麻酔に ついての説明があります。 担当医師より手術の説明があります。 手術室の看護師が説明に来ます。 看護師より入院生活・手術前後の流れ について説明があります。 手術までに、バスタオルを準備して おいてください。 手術・麻酔の同意書を提出してもらい 準備しておいてください。	手術室へは、化粧、マニキュアを落と し、時計・指輪・湿布・入れ歯等は はずして行きます。 	手術後、担当医師より御家族に手術後の 説明があります。	ベッド上でのリハビリが始まります。	リハビリ室で筋力訓練、立位訓練、車椅子 に移る訓練が始まります。 シャワー浴の方法を説明します。	
その他	入院中貴重品は金庫に入れて下さい。					

※病状に応じて予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら看護師にお尋ね下さい。

# 膝の人工膝関節全置換術を受けられる患者様へ ②

# 様

経過 月/日	手術後4日目 / ( )	手術後5日目 / ( )	手術後6日 / ( )	手術後7日目 / ( )	手術後8日目～13日目	手術後14日目
目標	傷の痛みが緩和される。 日常生活が介助にて充足できる。 足の痺れ、冷感がなく足趾の動きがある。 手術した足に体重をかけて歩行器 歩行ができる。 傷の感染がない。			日常生活が一部介助で充足できる。		リハビリ室で杖歩行ができる。 リハビリ室で階段練習ができる。
処置	血栓予防の機械をつけます。 手術した膝を氷で冷やします。 創状態の観察をおこないます。					回診時抜糸をします。 
安静度	歩行器歩行ができます。					
治療薬	痛みが強いときは痛み止めが使えます。					
検査	体温・脈拍を測ります。			朝に採血をします。 レントゲン室で膝の写真を とります。 		朝に採血をします。 レントゲン室で膝の写真を とります。 
食事						
清潔	温タオルで体を拭かせていただくか 介助にてシャワーに入っ ていただきます。 					
説明						
その他						


※病状に応じて予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら看護師にお尋ね下さい。

滝川市立病院 整形外科 (4階西病棟)

平成20年 3月11日 作成  
平成29年 4月28日 改訂

# 膝の人工膝関節全置換術を受けられる患者様へ ③

# 様

経過 月/日	手術後15日目～20日目 / ( ) ~ / ( )	手術後21日目 / ( )	手術後22日目～27日目 / ( ) ~ / ( )	手術後28日目 / ( )	手術後29日目～退院 / ( )
目標	膝の痛みが緩和される。 日常生活が一部介助で充足できる リハビリ室で杖歩行ができる 歩行器歩行ができる リハビリ室で階段昇降ができる	日常生活がほぼ自立している → 病棟で杖歩行ができる 退院についての説明が理解できる。	手術後23日目、日常生活が自立している。  (術後25日目病棟での階段練習ができる。)		退院に対する不安がない。
処置	傷を確認し、浸出液が出なければ何もはりません				
安静度					
治療薬	痛みが強いときは痛み止めが使えます。				
検査	体温・脈拍を測ります。	朝に採血をします。 レントゲン室で膝の写真を撮ります。 	朝に採血をします。 レントゲン室で膝の写真を撮ります。 		
食事	特別な制限はありません。 				
清潔	温タオルで体を拭かせていただくか、 介助にてシャワーに入ってください。 				
説明		退院後の生活について説明させていただきます。 			
その他					

※病状に応じて予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら看護師にお尋ね下さい。